

A

おっしゃる通りですが、その商店で働いておられる地元市民の皆さんも多くおられますし、会社からは固定資産税もいただいている。できれば本社・本店を雲南市内にもつ会社が来ていただければ良いとは思ふ。(市長)

1 1. [観光]

吉田町吉田地区

Q 2 0 3 [地域イベントについて]

今年度の夏まつりが中止との話を聞いたが、市からの予算も削減される中で、稲わら工房前のふれあい広場(駐車場)へステージを常設することが可能かどうか伺いたい。常設すれば費用も要らないのではないかとも思う。

A

ふれあい広場に常設のステージを設置することについては、住民の皆様意見を広く集約する必要があり、常設をした場合に支障となってもいけない。その上で必要があれば設置に向けて努力する必要があると思う。またこれについては、地域自主組織においても検討をしていく必要があると思う。(市長)

掛合町松笠地区

Q 2 0 4 [尾道松江線開通に伴う観光振興について]

先日から高速道路一部無料化が行われていたり、今後も尾道松江線が開通することになる。だが、ストロー現象ともいわれる人口流出などが起これば、せっかくの高速道路が仇になりかねないので、そうならないためにも観光振興に力を入れていただきたいと考える。宮崎県や三重県のパンフレットなどを見ると様々な工夫をしている。雲南市も見習って欲しい。

A

雲南市の観光の仕方に対して指摘があったが、雲南ブランド化プロジェクト、映画うんなんの製作、広島での農産物PR、広島テレビ・ラジオでの雲南の歌の放送など観光振興も積極的に行っているのご理解いただきたい。(市長)

三刀屋町飯石地区

Q 2 0 5 [さくら祭りについて]

さくらまつりでせっかく三刀屋には御衣黄があるので、もっとPRしていかれたらいいと思う。他の町の桜祭りとかぶることもないので、メインでやればいい。三刀屋の特徴も出せる。

A

4月ソメイヨシノの咲きごろから御衣黄が咲くまでずっとさくらまつりは続いています。今後もいろんな作戦を考えていきたいと思ひます。ご提言ありがとうございます。(市長)

加茂町加茂あかがわ連合会、加茂中団地地区

Q 2 0 6 [尾原ダムの観光開発について]

尾原ダムを観光地にする考えはありませんか。

A

どのように地域のために活かすかという事で様々な検討がなされています。公認のボートコースが6コース、ダムの周りにサイクリングコースができます。国道314号からダムに入るところに道の駅もできます。現在、残土処理所場を活用できないかという検討もしています。

地域づくり推進連絡協議会が設立されているので、多くの住民の皆様にご協力をいただきながら進めていきたと考えております。(市長)

木次町三新塔地区

Q207 [桜まつり体感フェアの継続について]

桜まつりの「幸運なんです、雲南です」体感フェア実行委員会があったが、地元は高齢化しており、ロングテーブルも協力したいがなかなかならない。今年のテーマが「つなぐ」ということで、土手、山、公園をつなぐ、人と人をつなぐということで成果がかなりあった。予算がないと担当者からも聞いたが、新町地区を中心とした取り組みをぜひ続けてほしい。

A

木次の桜まつりから雲南市の桜まつりへと考えております。世話役、来客が気がついたことを大事にして、磨きをかけたいと思います。情報発信をしていくためにも、すごいと思える桜まつりにしていきたいと思います。(市長)

大東町大東地区

Q208 [海潮温泉温浴施設と医療と保健の融合施設について]

海潮の温浴の建設計画が進められているが、一方では「医療と保健の融合施設」が検討されていると聞いているが、海潮の温浴施設は「医療と保健の融合施設」として建設できないか。海潮温泉は、1300年前の出雲の国に示されており、昔から地域の人々が利用されて来た。ここらあたりでは、自慢の大きな天然資源で、これを生かさない手はないと思う。これは将来にわたっての課題である。

A

海潮温泉整備計画については、諮問機関の「海潮温泉温浴施設整備検討委員会」により、昨年6月22日に組織化して本日まで13回の検討を行ってきた。その中でいろいろな意見をいただき、先ほど言われたとおり、古来湧き出る湯にゆったりと浸かっただく、これが全てだと思う。最終答申に向けて11月4日の第14回検討委員会で取りまとめられて市長に提出され、今後は市の方で参考にして整備を進めていくがそのような背景で市としては単独で観光施設目的の整備をしていきたいと考えている。したがって、海潮温泉の只今の計画と「医療と保健の融合施設」は、基本的には関連がないと申し上げたい。さらに、温浴施設については豊かな自然の恵である温泉入浴により、心身がリラックスし血行が促進する効果がある。これは、温泉の泉質による効果であり、一方で「医療と保健の融合施設」については、医師や理学療法士、保健師、栄養士、健康指導士等専門家による運動指導や通行型のリハビリを行うもので、また適切で安全な有酸素運動や筋肉トレーニング等を用いて健脚度等の身体能力の維持向上を目指すものである。温浴施設は、健康増進を目的に専門職員を配置してプールやトレーニングルーム等のメニューを揃えて利用していただいて運営をしていくものでご理解をいただきたい。(産業振興部)

[再質問]

温泉の温浴施設と医療と保健の融合施設について、商工観光課長から関連ないと見事に言われたが、それは制度的には関連が無いかもしれないが、ただ温泉を利用したいということは大いに関連がある。イギリスには温泉がなく、ドイツはたくさんあって温泉イコール医療と結び付く、日本の温泉は観光という考えだが、それだけではなくて、やはり雲南病院もあるので医療と結び付けて海潮温泉を雲南病院に使うとか、雲南病院の何か海潮温泉にできるとか考えられると思うが、市長の考えを聞かせていただきたい。

A

温泉と融合施設の関連については、温泉の湯を活用して健康増進に活かすということも当然先進地の事例からしてもある。海潮温泉の温浴施設は、今まで「桂荘」「かじか荘」「ゆりの里」と3つあったが、3つの施設がみんな老朽化している。これは、何とかしないといけないということで検討委員会が設けられた。委員は、20人でこの内11人が大東町出身で、9人が大東町以外の方という構成。これまで13回開催され、14回目の検討委員会で最終答申された。8月に中間答申が出されたが、今まで3つの施設はかなり昔からの海潮温泉をゆったり楽しもうという理念のもとに建てられたので、新しくリニューアルする施設はこの精神を受け継いでこられた方がいい施設ではないかと、温泉の恵をしっかりと楽しんでそういう施設にするべきではないかという判断を検討委員会でされたところだ。我々は、その考え方を踏まえて雲南市のためにどうしたら温泉を楽しんでもらえるだろうかと「桂荘」を考えているところで、平成23年の秋には供用開始を考えている。

融合施設は9月議会で一般質問にお答えする形で、「場所はどこか」という話があった。今、加茂町はB&G施設があるが、昭和62年に建設され23年経っている。夏だけ使用できるプールがあるが、かなり傷んでいる。これは、B&G財団が全国に480ヶ所、加茂町は300番目に建てられた施設で、相当老朽化している。480ヶ所の内、加茂町と同じような形で建っているプールにつきましては、ほとんど温水プール化が進められている。温水プール化は、建物の中にプールを作って温水化するが、加茂町の場合も他の480ヶ所の施設も逐次進められているような温水プール化が出来ないかということ。B&G、身体教育医学研究所が合併して雲南市がスタートした時に発足し、「生涯現役、健康長寿」を目指そうと、特にプールを活用する施設だ。議会の皆さんにも長野県へ視察に行っていたが、25mのプールがあって、子供達も歩いている。ものすごく施設が広大でB&Gよりも一回り大きいような施設でその位面積を要している。もう一つは、温水プールで歩くと酸素濃度が上がってくるが、風呂でバタバタするとすぐ心臓疾患、脳梗塞になる。医者適切な指導の基、あるいは専門のスポーツインストラクターが指導して初めてできる。そういうことになると、海潮にある3つの施設を一つにした「桂荘」では出来ないということになり、やはり今回リニューアルする施設は健康増進あるいは医療ということとは切り離して従来の温泉の恵を堪能する施設とするという検討委員会の意見が出され答申をしていただいた。B&Gの温水プール化が出来ないものか検討を進めているところでご理解いただきたい。(市長)

〔再質問〕

温泉をプールとかではなくて、医療という視点で将来に渡ってとらえておくということが必要だと思う。

Q209 〔関連質問〕

温浴施設については、東町としては去年の春から検討委員会と雲南市へ陳情書を出して1年間やり取りをしてきた。検討委員会の方では、もう話は戻らなくなっていると思う。第一段階の検討を終わってこれから中身をどうするのかということで、最終答申に向かって行くという段階になってきているので、私どもも5項目あるいは7項目求めて来たものが全部取り入れられない状況になって来ている。その一つが、「医療と保健の融合施設」と「温水プール」の関連、これら全て却下された状態になっている。1月頃、1億5,000万円の建設予算が計上され検討委員会ではその枠内で検討せざるを得ないという状況が生じてきた。一方では、加茂の方に身体教育医学研究所を改めてつくるのか、「融合施設」「健康長寿の町づくり」「身体機能の充実を図る施設」という言葉が飛び交って、そうした物を総合したものが「医療と保健の融合施設」と思う。そういう施設が加茂の方に出来る話が前々から進んでいるという状況下で私どもが求めていた水中ウォーキングとか温水プールとか全て押し切られてしまったということだ。6月までは、検討委員会では水中ウォーキングを市に対して求めていくという結論であったと思う。6月末の検討委員会で、それもつくらぬことに決定してきたと、それを市が受けて市長が言われた形で進んでいると。連合自治会長からは関連性があると言われたが、そういう意味からすると私どもが求めてきたことについては、非常に関連がある。これが全て却下されて今日を迎えている。私の考えでは、一つは1億5,000万円のことで、融合施設構想があるということで、検討委員会の検討が狭められてきた、束縛されてきたということではないか。今更こういことを言っても始まらないが、将来的にはそういう構想を持っていかないといけないし、加茂に作ったら温水は出来ない、何らかの方法で水を温めなくてははいけない。

海潮温泉であれば湯がたくさん出てきている、それをそのまま使える、あそこに雲南病院と提携してリハビリ施設とか温水プールとか水中ウォーキングとかいろいろなことができるようにしてほしいというのが我々の願いだったが、今の段階では全て出来なくなっている状態で、直近の13回か14回の検討状況が分かればお知らせいただきたい。7月16日に意見交換会があり、市と要望書を出した団体と検討委員会から1人参加があって意見交換会を行った。最後の所で市長から参加者から「かじか荘」断定的に継続させてほしいという要求が出た。

それに対して市長は、「「かじか荘」ファンが非常に多いということは承知していると、それをしっかり腹に据えていくと、しっかり受け止めなければならないと思っている」という回答があった。そこで、もともと温浴施設整備の検討は、「かじか荘」「桂荘」「ゆとりの里」の3つを合同にして一つの物を作っていくと、検討委員会の答申の基本的な確認事項であると思う。

そうすると市長の発言は、そのことを根底からひっくり返して「かじか荘」を残す前提の答弁であるならば、元から検討をやり直すことに結び付いていくのではないかというふうに感じている。私の受け止め

方が違うのか、市長の態度表明があったということは「かじか荘」が続いていくという方向転換ができるかどうか、そこを回答していただきたい。

A

融合施設につきましては、9月議会で4名の方の一般質問をいただいた。融合施設について全員協議会で話をさせていただいているが、内部の施設は協議が必要ということで、理念とか計画とかについてはまったくお示しをしていない。そここの言葉が独り歩きしているのではないかと考えている。温浴施設については、昨年の6月からスタートして13回の検討委員会でクライマックス的には、11回目6月の終わりの検討委員会だった。いろいろ皆さん方から要請があった団体、東町自治会から水中ウオークができる施設も併設できないのか要望が出された。これについては、女性グループの皆さんも検討委員会を傍聴され、それを踏まえて検討委員会の中でも何とか要望に沿うようなことが出来ないのかと、委員の皆さんの思いもあり、確かに制約ということもあったと思うが、本当に海潮温泉に合うのかどうだろうかという論になった。しかし、やはり「桂荘」は水中ウオークとかはそぐわないのではないかとということになった。

「桂荘」は、温泉にゆっくり浸かって健康増進あるいは普段の生活の疲れを落として「明日も頑張ろう」という施設にすべきではないだろうかということになった。水中ウオーキング的なことについても、建築設計士の矢壁さんをお願いしているので、今までと違った施設になるので大東町内外からたくさんの方に来ていただく施設にしたいと考えている。「かじか荘」「桂荘」「ゆとりの里」いずれも老朽化しているので統合して「桂荘」に持っていこうという考えだ。(副市長)

基本的には、3つの施設を一つにするわけですので、「かじか荘」「ゆとりの里」については、「閉鎖」という考え方には変わらない。(市長)

Q210 [関連質問]

海潮温泉温浴施設の検討について、いかにも大体の予算組みがあってその制約の中で話し合わせ地元は了承しなければならないような経過に感じる。反面加茂町では新たな温浴施設が計画されていると噂に聞く。噂が本当であれば海潮温泉を冒とくしている。噂は本当か、計画があるのかないのか詳しく回答して欲しい。

A

雲南市では現在医療と保健の融合施設の検討を行っており、これについては9月議会でも質問されている。高齢者から子供まですべてを対象にした健康増進施設の計画であるが、担当部局段階のものであり理念や事業費など具体的にはまだ何もなく、議会でも説明していない。大東地区の懇談会においても温浴施設と関連して質問が出たところだが、温浴施設は13回にわたる検討がなされ11回目の検討で、水中ウオークを要望される女性団体などと意見交換を行い、その結果として、海潮温泉の温浴施設は古来からの名湯である温泉を純粋に満喫する場であり、施設であるべきだと結論に達している。桂荘の増改築による施設整備だが、これから設計に入り、充実した施設とするため事業費もおおくなるはずで、現状とはガラッと変わり、皆様に喜んでもらえる施設になる。どうかご理解をいただきたい。(副市長)

質問については副市長が回答したとおりだが、海潮温泉の計画と加茂の計画については、まったく別の視点からのものである。大東においては全国に誇れる名湯をしっかり利用した温泉施設、やすらぎ憩い、まさしく神から授けられた恩恵をすべからく享受するという考え方。一方加茂での計画は、医療と保健の融合施設の名のもとに進めていく、まったく別のものである。生涯現役で、病院にかからない、介護施設を必要としなくてもいい地域づくりのための保健施設と考えている。いま国保の保険者である雲南市が負担する医療費は21年度末で29億円、被保険者1人当たり年33万円かかり毎年1万円ずつ増加の傾向にある。国保と高齢者保健両方合わせた雲南市の負担は100億、1人当たりでは52万、こうした状況にストップをかけたいと考える。加茂にはB&G施設、プールがあり、これを温水プール化して年間利用を可能としていきたい。長野県ではこうした施設の利用で1年間の医療費がこの10年で4万円下がった例がある。すぐにこうした状況にはならないかもしれないが、雲南市においても現在検討している施設が役立てばと願っている。計画を隠していることなどは決してない。(市長)

[再質問]

理解できない。検討委員は加茂にこうした計画があると知った上で検討していたのか。

A

当然。7月16日の検討委員会には大東町女性のつどい70～80名の方から直接要望もいただいている。検討委員会が1年半になるが要望も十分に検討した結果、温泉であることを十分に活かしてゆつたりとつかり、純粋に温泉そのものを愉しむという結論に達している。検討委員はこうした経過を知ったうえの検討である。(産業振興部)

[再質問]

かたや大東町は1億5千万円、かたや加茂町は12億円と噂で聞いているが、金額に差がありすぎる。大東町は我慢しろということか。

A

まったくの噂に過ぎない。白紙で検討中であり、そのような予算措置、金額設定はできるはずがない。加茂町においても既存の施設を利用して事業費を圧縮していく手法は同じ。まずは議会で説明して計画を固めたい。大東町は1億5千万としているがこれも当然これではできない。今後も検討委員と協議して海潮温泉にふさわしい施設にリニューアルしていく方針である。ご理解いただきたい。(副市長)

Q211 [関連質問]

先ほどの質問で商工観光課長からは水中ウォークのことと履き違えて回答があったと思うが、加茂町に健康増進施設12億円の計画があるなどと説明をうけたことはない。検討委員の一人として聞いていないので誤解のないようにお願いしたい。

A

水中ウォーク併設の要望意見の検討内容を検討委員に説明してきたという意味合いであって、加茂に健康増進施設ができるのか、12億円かかるのかの説明はしていない。言われるのが事実であり、誤解を与えるような回答で申し訳ない。(産業振興部)

大東町海潮地区

Q212 [海潮温泉かじか荘の存続について]

温浴施設整備事業については桂荘を中心に一本という説明だが、現在も営業されているかじか荘は、源泉かけ流しの施設であり、結果温泉としての効能も高く、利用状況として日々70名以上の利用者があり多くの皆様に愛されている。利用は多いときで一日150名を超えている。

9月28日に調査をしたところだが、朝9時30分営業開始にもかかわらず、9時15分には、高齢の方7名が開店をまっておられた。多くの利用者から、温泉の効能について「ここのお湯は、体に本当にいい。足の具合が良くなった。」などたくさん声が届く。是非継続に向けた検討をしてほしい。

A

「かじか荘」「ゆとりの里」「桂荘」の海潮温泉所在の市営3温浴施設については、「海潮温泉温浴施設整備検討委員会」により、昨年6月22日以来、これまでに13回の検討協議を行っている。各方面からの意見を集約し11月4日開催の第14回検討委員会を経て市長が最終答申する予定となっている。最終答申には、現在の桂荘をベースに3温浴施設を整理統合することを前提に、シンプルな施設整備であるべきとの結論付けがなされるっており、雲南市としては、これを参考に、かじか荘については「ゆとりの里」同様閉鎖し、予算化の状況により解体撤去を考えている。今回、要望の趣旨は受け止めるが、同類の市営施設が同じ地域に複数存在することは、今後の雲南市の運営上、負担となるほか、現在のかじか荘は管理者不在の無人運営であり、市営施設管理上、避けなければならない。加えて、新たに桂荘が大きな浴槽にリニューアルされると、「海潮温泉」の湯の供給量自体にも影響があること、また、泉源を同じくしているため効能も同じと考えており、現在の利用者の皆様にも同じく桂荘を利用していただきたい。閉鎖はやむなしと判断している。(産業振興部)

Q213 [関連質問]

海潮温泉ゆとりの里閉鎖の新聞報道が出てから、地区のみんながショックを受け、海潮はもとより大東町全体が温泉の今後の対応について注目してきた。当初は市から3つの施設を統合して新たな施設を建設すると説明があったので、できるだけ早く現在の利用者が困ることがないように整備してほしいと期待し

て見守っていたが、その後検討が進む中で現行の桂荘を増改築して3施設を統合すると変わっている。桂荘自体が老朽化していて、施設の不具合や菌の増殖により休業することすらあるのにそれでいいのかと思う。当時3施設で1日400人程度の利用者があったが、増改築計画をみる限りせいぜい200人の収容能力しかないように感じる。雲南市の計画により自らどんどん利用者を減らす方向に向いているとしか見えない。かじか荘をよく利用するが、加茂や出雲など地区外からの常時利用者が多い。その利用者もかじか荘だけは大事にしてもらいたいという声を聞く。かじか荘は泉源に近く、沸かさないうでかけ流す温泉であり、このことが効能を高め、利用者の満足につながり、また沸かす循環するなどの余分な経費、施設が不要である。運営的にも黒字でありかじか荘を市の計画とは別に存続させることは不可能ではないように感じる。この一件で、「市政懇談会にもでてもしようがない」と市政に幻滅している住民も多い。今一度かじか荘の存続については検討をお願いしたい。

A

かじか荘の存続について、確かにたくさん利用者がおり、年間を通じて月2回の休業、9時半から9時まで営業し、H14で3万人、現在は2万7千人～2万8千人が利用している。ただし、建設が昭和49年で老朽化していること、市営施設でありながら無人の営業で、なにかあってはならない状況が現在も続いている状態でもある。新しく増改築する施設は駐車場の拡張も含めた外構工事も計画するので、3施設の利用者数は十分に受け止める。温泉だけでなく、交流の施設会議室、サウナ、水風呂、特産品販売所など、これまでの3施設の機能はもちろん新しい機能を十分に持った施設整備を行うつもりである。また、行財政運営の観点からも同じ地域に同じ種類の複数の施設があるべきではないと考え、検討委員会からもこういった答申がまとめられている。増改築して機能整備した桂荘一本で行くという今回の方針にどうかご理解をいただきたい。(産業振興部)

[再質問]

桂荘が良くなれば、来訪者も増加する。50～60人を受け込めるかじか荘があれば、ゆったりできると思う。運営経費がかかるわけではなく、現在も黒字のかじか荘を閉館しなければならない意図が理解できない。今一度検討、存続に向けて努力してもらいたい。

A

検討委員17名の内11名が大東町の出身であり、この委員会の総意で決定したことがこの度の検討結果である。いずれ完成する桂荘は必ずや来訪者に満足のいくものであり、検討のとおり一本化でいけると確信している。(市長)

Q214 [海潮温泉の重要性の認識について]

海潮温泉は重要だというのが、本当にそう思っているのか。海潮温泉には4軒の旅館があって現在は2軒が営業している。閉鎖中の1軒は多機能型の高齢者施設として利用するよう取得されたと聞いている。海潮はほたる、温泉、神楽、重要に思っているなら入札に市がどのように関わるのか、関わるべきではないかと考える。駐車場もない。水中ウォークの件、新しい施設も、文書をもって健康増進を目的とした施設は作らないとなったらしいが加茂には作るとか、検討が二転三転するのなら、やはり海潮温泉に作ろうではないかとの話もある。

A

冒頭で話したように、地域資源を活かした振興策を図る上で、市内にある素晴らしい温泉を活かしたいと考える。海潮温泉はもとより、湯村温泉、深谷温泉と一体で観光資源として市への入込客の増加を目指す。こうした観点から海潮温泉は3施設を統合充実させて西の玄関口として発展も図るものである。民間の旅館についてやむを得ず閉鎖された旅館が福祉施設として活用されることは歓迎すべきことと考える。駐車場の確保は民間の旅館の意向も尊重し、行政として関われることがあれば駐車場を含めた全体の温泉街の活性化に向けて、しっかりと関わりたいと思う。

水中ウォークについては当初要望があったことをしっかり受け止め検討し、やはり委員会の中で温泉の機能を充実させ楽しめる施設として、水中ウォークはいらないとの結果に達しており、検討が二転三転しているというのは全く事実ではない。(市長)